

地域を
変える
チカラに

地域おこし
協力隊

活動報告



吉田 有志さん



田中 綾音さん

約 5000 平米の山林は去年の 10 月に購入した。当初、僕がお金を払い、敷地の木を全て伐採し、土地を整備して下さる業者さんをお願いしようと思ったが、少し木を残したいと考えたのと、大切な土地と金銭的メリットを天秤にかけた考えが嫌になり、自分で木を切ることに決めた。建築士の友人と、森林伐採の実務経験のある近所の美坂秀美さんに手伝って頂き、土地の頂上部分の木を全て伐採した。躊躇うことなく伐採できた木もあれば、その時なにかの理由により、気持ちの整理がつかず、伐採を後日に延期した木々もある。時間はかかったが、完全に納得した上で前に進んだ。伐採した木の整理は、想像以上に骨の折れる作業であったし、ハゼの木を切り、ハゼ負けして身体中がかぶれる経験もした。しかし、自分の思い描いた伐採が 100% 出来て、言葉にならない深い喜びを感じる。先日、山桜の木が敷地内にあるのを美坂さんが見つけた。ここで花見ができると思うと、心が踊る。

8 月、3 年目の「ナゴシドンのつなぎ手」です。一昨年から、岸良海岸で披露する神舞の舞手や運営のサポーターをひろく募っていますが、今年はおもしろいことに、地元のみなさんからたくさん手が挙がっています。

そしてさらに、3 月まで肝付町にいた人たちや、昨年まで参加してくれていた町外のみなさんも、また帰ってきて参加してくださるとのことです。

「この素敵な行事を再発見してほしい。そして地元の人とよその人が一緒につくりあげ、次につながり広がっていくものになってほしい」そんな気持ちで始めたこの企画。地元の教え手たちや子どもたち、そして肝付町から離れたところにいる人たちが集えるお祭りになってきています。

その一方で、ひとつの行事を継続することの難しさも痛感しています。「よりよくしたい」という気持ちを全員がもっていても、年齢や本業、毎年変化する地域の状況にどうしても左右されてしまう…。規模が小さな地域であればなおさらです。

そんな中、いかにうまく回していくか考えるのが難儀でもあり、おもしろくもあります。おもしろいから、今年もがんばります！